公民館報
こすど

発行所
小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
編集発行印刷人　矢部藤三郎

今年の増産は まず改良苗代から!!

昨年は予想外の好天候と農家の非常な御努力で大豊作を得たのでありますが、さて昨年と比較して今年はどうでしょうかまず考えられることは

1 種籾の素質は

昨年は御承知のように異常高温で、然も秋に雨が多かった為め、種籾の乾燥が悪かったことであります。乾燥の悪い籾は貯蔵中にその生理作用で変質を来し発芽力が低下するのであります。従って今年使用する種籾は例年の種籾よりも発芽力において素質が低下していることであります。

2 気象条件は

気象台の長期予報によりますと、苗代時期には相当の低温が予想されるという農家にとっては非常に暗い予想が出されていることであります。

以上二つの点が今迄に判明した水稲栽培において今年が、昨年に比較して不利な条件下におかれていることであります。この判明した、二つの悪い条件を克服して、昨年に劣らない収穫を挙げる為に農家の皆さんが、自から懸命に考え、且つ確実に実行しなければならないことは何んでありましょう。

それは第一に、苗半作といわれる育苗問題であろうと考えられます。

今年こそは既に普及奨励されている改良苗代の即時実行であろうと思います。この改良苗代は既に本町にも普及され好成績を挙げております。部落的に見ても、部落内の殆どの農家が改良苗代を実行している処もあり、又反対に殆どが、従来の水苗代の処もあり、その普及度は決して満足すべき所まで行っておらないのが現状であります。

改良苗代は経費の面から見ると、若干の支出増はまぬかれません。即ち改良苗代の中、保温折衷苗代では、温床紙又簡易折衷苗代では、防鳥網が必要なことは、周知の通りであります。而しその経費も健苗のもたらす収穫増が、それをつぐなって余りあることは、既に多くの事例が立証している所であります。

だから今年のような悪条件を予想される年に於てこそ、皆さんが一挙に安心できる育苗法、即ち改良苗代、特に保温折衷苗代に切変えて増産に励まれるよう、今から計画して頂きたいものであります。

佐藤・坂井両氏 最優秀賞に

新鉄綜合美術展

新潟鉄道管理局主催管内綜合美術展において、一昨年、昨年に引続き佐藤江山（宮一）坂井清風（石平）両氏共揃って書道の部に最優秀の成績を得られ、上野美術館に開催された全国鉄道美術展に管内代表として推薦出品された。

書道会賞	佐藤江山
佳作	笹川江舟

最高位 小須戸が占む

加茂市書初大会

一月四、五両日加茂市公民館主催、県下書初展覧会が開催された。成績左の通り

▲一般の部

市長賞	板井清風

▲中学校の部

書道会賞	五十田知子（中二）
金賞	今井幸子（中一）
銀賞	石井美代子（中二）
銅賞	大塚小夜子（中二）
〃	石附昭子（中一）

▲小学校の部

県会議員賞	塩野修（小三）
教育委員会賞	佐藤八重子（小六）
公民館長賞	小林一枝（小六）
婦人会長賞	藤井昇（小六）
銅賞	風間儀四郎（小六）
	武藤武哉（小六）

特選入賞七名

県下学生書初大会

新潟大学主催県教委後援の県下小中学生書初大会の審査の結果が一月三十日新潟日報紙上に発表され、小須戸小、中学校では左記の七名が特選に入賞、県下最高の成績だった。

中学三年	浅見幸子
〃	吉岡恵子
中学二年	吉岡利昭
中学一年	牧野静子
小学六年	土屋育子
〃	佐藤八重子
小学五年	吉岡忠弘（加茂へ転校）

町村合併促進委員会解散す

一月二十三日公民館にて合併促進委員会を開催町長より現在に到るまでの経過を報告、同時に企画委員会の意向の説明あり、現在の段階にあっては統合を完成したばかりの近接町村の分市、分町と云うことも考えられず亦町としては県立病院の誘致に全力を尽す関係上改めて新しい構想の下に小人数の委員会をつくる事とし今迄の委員会は解散することに決定した。

二市中蒲原郡 社会教育振興大会

標記の大会を去る一月十六日午前十時より新津公会堂にて開催、午前中は「社会教育の進展をはばむものは何か」の題のもとに婦人会、青年団、公民館、社会教育委員代表によるパネルデスカッションあり、午后は、新生活運動を如何に展開するかの全体討議に多数の活潑の意見が開陳され最后に朝日新聞論説委員伊藤昇先生の「暮しの中で考える」の演題で新生活運動のあり方にするどい批判と貴重な意見を述べられ一同に大きな感銘を与えられた。当町からも社会教育関係者、特に婦人会員多数参加され非常に有意義であった。

講習会のお知らせ

公民館では、町婦人会や、小須戸町日赤奉仕団の御協力を得て第五回に渉り「家庭看護法」の講習会を実施しています。御指導下さる人は日本赤十字新潟支部の谷美津枝先生です。

去月十五日寒いのにもおくせず受講者の皆さんが、栄養食の五品を公民館ホールで伝達講習をしました。

早春のさわらびにも似た乙女たちの熱心さは、現代に生きる女性の意気をいかんなくはっきし、受講に来られた皆さん方から再度講習の機会を希望され、和気あいあいたる一日でした。

第二回の伝達講習は三月中に行う予定です。都合して受講下さい。お伝えする内容期日については後日回覧板でお知らせします。

第六回「家庭看護法」の講習会は二月十二日午前九時より公民館で。内容は家庭常備薬の話と、麺類三種の栄養食のつくり方の実習が行われた。

第七回「家庭看護法」の講習会は二月二十六日午前九時より公民館で開催されますので、どなたも気軽に受講下さい。

新保分館だより

講演会

さる一月二十一日午后新保分館、婦人会主催で県厚生課より橋本先生を講師として迎えて講演会が催された、昨年度も橋本先生より母親として有意義な講話をお聴きしておるので、今回は両部落婦人多数出席し正しい子供のしつけ方について夕刻まで熱心に聴講された。

分館剣道大会

二月七日午前十時より新保分館主催で新保、竜玄剣道部では、奈良、山崎両先生をお迎えして大会が催され、参加者終日熱心に試合が行われた。

第九回町民 かくし芸大会

日時　二月十九日　午前九時
会場　小須戸分館

各小学校・中学校・高校
保育所の子供さん
各支部・各部落より二十分宛の秘芸珍芸
の出演

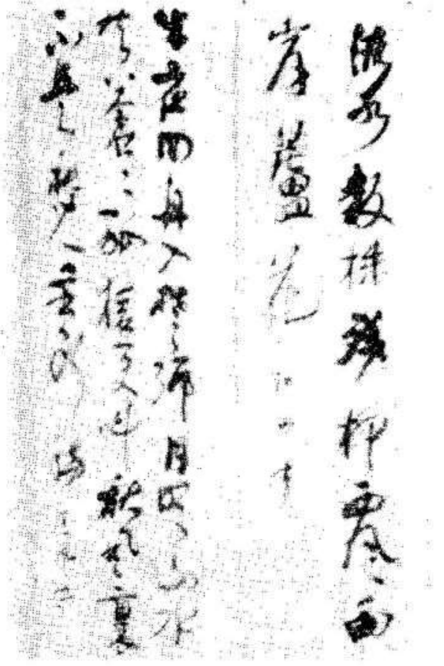
もうすぐミシン十台

中学校ＰＴＡの特志寄付

小須戸中学校ＰＴＡでは「ミシン十台寄贈」を目標に広く、白根町戸石にまで協力を求め、特志寄付を募っていたがこの程一地域が残っただけで募金はほとんど終った。あと八、〇〇〇円で目標達成という好成績である。

学校の教具は町費で整えるべきであろうが、何といっても中学校の経費は二十九年度から急激に減少して、本年度は郡内で最下位という貧弱予算である。町にはまた三校統合などの問題があったので、ＰＴＡではやむを得ず特志寄付にふみ切ったものである。

十台のうち五台はすでに学校に届いて生徒達を喜ばせている。購入には学校職員一名を加えた七名の委員が当った。委員は業者の見積書をしらべ数回の交渉を経て、ブラザーミシンB3型二万四千円のものを特別価引一万八千五百円で買入れることが出来た。あと五台購入できれば中学校のミシンは十五台、女生徒達三十人に一台当りとなって、郡内の一流校と肩を並べることができるわけで、この仕事に当ったＰＴＡの役員や学校側は町民各位の理解と協力に深く感謝している。



写真は佐藤・坂井両氏の作品

第十六回囲碁将棋大会

期日　二月二十六日　午前九時
会場　小須戸町公民館
授賞　各５等まで
会費　５０円当日納入

同好者御誘いの上多数参加下さい

正月の不摂生と病気について

正月と云えばどこの家庭でも来客の接待などでお酒に接する機会も多く年に一度の気のゆるみもあって暴飲暴食や生活も不摂生になり勝ちです。

正月のいろいろの不摂生から思わぬ病気を引起したり再発させたりすることが多いので、家庭では出来るだけ注意して頂きたいと思います。この不摂生から来るものではまずカゼであります。日頃虚弱体質な人やふだん激務にたずさわっているような人は、一寸した油断でカゼにかゝりやすいのですから、日常生活には特に注意が大切です。

普通カゼだけですむものならよいが、これが原因でいろいろの病気を誘発したり再発したりすることが、今迄の例からこの時期には特に多いのです。その一つが結核であります。ツベルクリン反応が陰性だった人が陽転する機会もこうした時期に多いのです。カゼを引いたことから二時的に起る病気に扁桃腺炎、気管支炎、中耳炎などがあります。又老人や心臓病高血圧症などのある人はカゼをこじらせると非常に重い型の肺炎などを起すこともあります。正月の不摂生から結核症を誘発させたり再発させることが多いように、胃腸障害の場合も同じことであります。

一度胃腸疾患にかゝったことのある人、又慢性胃腸炎や肝臓病の人もこの機会に病状が悪化するようなことが多いようでありますから「一寸変だ」と思ったら早くお医者さんの診断を受け、手遅れなどにならないよう特に注意して頂きたいと思います。こうした不摂生に対しては何よりも十分な休養と睡眠をとることが何より大切です。ふだんからカゼを引きやすい人は、寒さへの抵抗力をつけるため特に脂肪分の多いカロリーの高い食物をとることもカゼの予防にもなります。

酒に弱い人でやむをえず酒席に出るような時はその前に牛乳とかバター天ぷらのような脂肪性の食物を先にとっておくと悪酔しないですむようです。

種痘実施について

定期種痘を左記日時により実施致します。該当者は個人通知が行かなくとも、当日会場へおいで下さい。

会場	種痘接種日	種痘判定日
(一) 矢代田校（地域）矢代田、天ケ沢、鎌倉	二月二十七日	三月五日
(二) 公民館（本館）（地域）町部	二月二十八日	三月六日
(三) 小須戸小学校（地域）横川、小向、水田、新保、竜玄	二月二十九日	三月七日

時間はいずれも午后一時より三時まで

接種該当者は
(1) 昭和三十年一月一日〜十二月末日迄の出生児
(2) 今年四月小学校へ入学するもの全部

購入図書のお知らせ

一月十三日〜二月十三日

◆文芸春秋二月号
◆婦人朝日二月号
◆キネマ旬報一月下旬
◆あまから随筆　谷崎潤一郎
◆私は前科者である　橘外男
◆第十粋人酔筆　福田蘭童 外
◆あなたはタバコがやめられる　ハーバート・ブリン
◆夫婦の法律。編 有泉亨　立石芳枝
◆君たちは無力ではない　和地拓
◆初恋物語　源氏鶏太
◆現代人物論　小泉信三
◆定本半七捕物帖　岡元綺堂
◆無遊病者の姪　ESカードナー
◆天から降った娘　中野実
◆浅草　高見順
◆人間世界
◆日本シナリオ文学全集　新藤兼人
◆じじ愛すべし　長谷川春子
◆花　吉屋信子
◆機械の中の青春　佐多稲子
◆甘言学(2)　渡辺紳一郎
◆銭形平次捕物全集 小判地獄　野村胡堂
◆浪人無双　村上元三
◆人間心理的なみかた　玉岡忍
◆南風　梅崎春生
◆武道一夕話
◆魔婦の足跡　佐々木之津三
◆講談全集　後藤又兵ヱ　鍋島猫騒動　三家三勇士
◆越後伝吉
◆薩摩飛脚（下）　大仏次郎
◆時間　堀田善衛
◆三国志㊂　吉川英治
◆青春地獄　宮崎清隆
◆世界の裏街道をゆく　大宅壮一
◆新編大衆文学名作全　江戸三国志㊀　吉川英治　由比正雪
◆オール読物三月号
◆大空の決戦　坂井三郎
◆劇場二十年　秦豊吉
◆東京の人　川端康成
◆続東京の人　川端康成
◆恐るべき子供たちの眞実「親と子」　内藤文質
◆大菩薩峠(3)　中里介山
◆第三の随筆　池田潔
◆十字路　江戸川乱歩
◆日本文学アルバム　島崎藤村
◆幼児の心理　波多野勤子
◆戦艦武蔵の死闘　佐藤太郎
◆暮しの手帖㉝
◆野球界二月号

忘れもの

十一月下旬頃、公民館図書室へ左記の忘れものがありました。公民館に保管してありますからお心づきの方は取に来て下さい。

一、正絹チリメン風呂敷地色ウグイス茶で、松竹梅のキッコウ型模様

今年は更に充実した計画を

小須戸町山岳会

日本古来の野趣を求めて、昨年十月一日護摩堂山上に観月会を主催しまして、誰でも簡単に仲間入り出来るレクリエーションとして、遊山を兼ねて、一般の皆様に御参加願いましたところ、丁度新潟大火の朝で多用中のことゝてどうかと思われましたが幸いに多数の皆様が参加致し盛大裡に無事大成果を上げ得ましたことを紙上を借りて参加者各位に厚く御礼申し上げますと共に御後援を頂きました、皆様並に山上温泉協会の絶大なる奉仕に対し深甚の謝意を申し上げます。

来る中秋には更に充実した計画の下で、もっと皆様に喜んで頂けるように今から立案致したく心得ておりますから皆様から一層優れたプランの御提出を希望致しております。なお此の行事に参加頂いた方々の中で碧紅葉を求めて、探勝のハイキングを是非催してくれとの話もありましたが、甚だ残念でしたが私達にそれだけの行動を連続して行うだけの力量の不足をおはずかしながら謝すると共に、こういった面にも充実リード出来るように各方面の御理解を頂けますように、こゝに御願い申し上げて更に有能なる先達？の方々に後事を托し出来る日を期待しております。

次に本年の一般的レクレーションの御要望中の一つに富士山登山が検討されており実行出来るのでないかと思っております。いずれ詳細発表させて頂けるようになりましたら護摩堂山上観月会以上の行事になることゝ待遠しく思っております。

限り無い自然への憧れを、家業の暇をやりくりして各人各様に山へ出かけて行く仲間、山登りの大好きな人達の集りが小須戸体育協会傘下の私達の小須戸山岳会です。別にむづかしい会則めいたものもありません、常に山の如く「来たるこばまず去る人を追わず」でおります。

加入希望の方々、また優れたプランの御提出を小須戸町山岳会（公民館宛）では御待ち致しております。

明るい町は
片隅の善行から

雪道を歩く時は先ず足の早い者がおそい者を除けて通る事が常のようですが、其の為に小学校一二年の幼児が何時も除けさせられ靴の中へ雪を入れて吹雪の中で手の凍えるのに雪を出すことたび〳〵あって学校におくれないように気を揉んでおるやるせない子供の様子を見るに偲び難く、新町の木村丑五郎氏が通学道路の除雪を提唱しましたところ第一支部の五年生以上と川向からの中学生と、都合約五十人位で、車庫のところから、学校までを僅か、三十分位で、四面白一色の中に土の香もすが〳〵しい道路に早変り子供達は皆喜んで足も、軽やかに元気で登校する姿を見て感じたので有りますが、この小さな善行を範として自動車と並行しない最も学校に近い道をどんな大雪の年でも冬期間に二〜三度奉仕したら如何に皆が助かるでしょう。町並びの雪とて、其の通り交通安全は勿論の事、万一の場合の為に先ず安心です。明るい町、文化の町、と口にはいゝやすいが、行いは容易でない事ですが理窟抜きで実行したらどんなに愉快の事でしょう。

一・二〇記　新町　中村

付言）なお木村氏は常に子供を可愛がり、頓智や冗談で子供を笑わせたり、昨年の秋の節句の日曜を利用して、遊山に連れて行く事を計画し、子供が大変喜んでおったが不幸にして雨で行きませんでしたが、子供を愛する美しい気持の持ち主です。

春隣り
小須戸町俳句同好会新保支部　雪菜

犬連れて畑見に行くや春隣り　多川
橇戻し葱の小束を商える　灯流
なべてよし戸隠種兆春隣り　向日葵
肥縄も荷縄も出来て春隣り　一知
塵橇の市中に居りのゝしられ　山葵
足片を深雪へ入れて橇よけぬ　一灯
節山のくぼみも見いて春近し　香月
闘病のつまづきがちに春隣り　蜂子
風花の町をさゞめきゆく芸者　虚秋
橇の子等暮るゝを知らぬ坂の上　虚風
風花や街頭賭博をのぞき居る　良遊
空橇を引きつゝすこし酔っており　ひさ
風花と遊ぶ襁褓の窓荷く　石秋
橇通り過して話続けゝり　溪灯
冬ばらを飾りてこゝは署長室　星灯
橇引いて江筋の氷子等渡り　流水

歳末慰問

一、坂井富三郎　一、〇〇〇
一、横山コト　一、五〇〇
一、中小学生、児童　雑誌拾数点

右寄贈金品保護世帯に配付致しました。

厚生課

郵趣ニュース

昭和三十一年切手発行予定

先般郵政省より発表された本年の切手発行計画は次の通り。

一、記念切手

(イ) 世界卓球選手権大会記念＝四月二日から十円切手一種を発行
(ロ) 世界柔道選手権大会記念＝五月三日から十円切手一種を発行
(ハ) 世界こどもの日制定記念＝五月五日から発行の予定意匠その他未定
(ニ) 佐久間ダム竣工記念＝十月頃発行の予定意匠その他未定
(ホ) 第十一回国民体育大会記念五円二種連刷の予定発行未定

二、国立公園切手

(イ) 西海国立公園＝七月頃発行の予定
(ロ) 屋久島国立公園＝指定を受けたら十月に発行の予定

当っているか？
今一度調べましょう

お年玉つき年賀はかきの当せん番号。お年玉受取り期間、一月二〇日〜七月一九日当せんしたお方は、くじ番号の下へ名前又は認印をおして郵便局へお持ち下さい。

特等　各組共通　〇三五二七五
一等　六八〇四四九
六四九三二七
二等　九一〇三三七・八七七六三二・六三〇六五九
三等　下五ケタ　六〇三一七
四等　下三ケタ　八八八・一五〇
五等　下ケタ　四五・三九
〇三

優勝杯争奪
近郷卓球大会

小須戸町卓球協会主催で、去る二月五日午前九時半より小須戸小学校体育館に於て開催された。大会開催に当り多数の皆様より斯道奨励のため御協力を戴き、なお村山県議長谷川町長の両氏より優勝杯の寄贈を戴き優勝杯争奪団体試合を郡内二十八チームが参加され熱戦が展開された。

小須戸チームは熱戦もむなしく、強豪国鉄新津工機部チームに敗れ二位となった。

団体男子の部
優勝　国鉄工機部Aチーム（新津）
二位　小須戸Bチーム
三位　白根チーム

団体女子の部
優勝　早通Dチーム
二位　早通Aチーム
三位　白根Aチーム

個人男子の部
一位　奥村幸男
二位　坂井誠一郎
三位　熊倉義光

個人女子の部
一位　丸田朝子
二位　谷　悦子
三位　渡辺奈々子

短歌

筆太に「賀正一九五六年」
恩師の姿懐しくうかぶ　丸山一夫

聖愛に生き抜く誓書添えし
君が賀状をくり返し読む　小川玲子

雪の野にきらめく光地平まで
歩み出でんと吾が立ちにけり

鉢植のバラの蕾のそのまゝに
冬も半ばとなりにけるかな

横水分館だより
囲碁将棋大会盛会裡に終る

横水分館ではさる二月二日午前十時より囲碁将棋大会が開催された。

平素研究を積み、腕に覚えのある方々多数参加して盛会裡に会を終了した。次の方々が大会に栄冠を勝ち得られた。

囲碁の部
一位　高野　勉（横川）
二位　小柳　達郎（横川）
三位　山口　新松（横川）

将棋の部
一位　中野　登（小向）
二位　海津政太郎（水田）
三位　岡田　政実（横川）

なお分館では、二月十六日分館内卓球大会が開催、二月二十九日には、分館敬老会が催されることになっている。

第一回
麻雀大会
盛会裡に終了

小須戸町雀友倶楽部主催公民館後援第一回麻雀大会は、二月五日午前十時より公民館階上に於て華々しく開催された。生憎卓球大会との差合、旧正月年始祝等の関係で当初予測された人々の参集は得られなかったが、参加された精鋭二十四名和やかな空気の裡に熱戦の火蓋が切られた。準トーナメント方式三回戦の結果左記入賞者が決定した。勝敗を競い好きな遊戯に興じ合うこともさることながら、親睦を深め交誼をひらめること、更に歪められた社会通念（兎角麻雀を不健全娯楽と見做す）を払拭し、健全明朗化させる目的で敢て本大会を催した成果と意義のあったことを特に附言致したい。今回参加された大方の諸彦も此の点をはっきり認識し合い、今後も機会を逸せず同好の士に呼びかけて次回を持つことを約し散会した。（W生）

入賞者
一等賞　渡辺助一郎
二等〃　油田　金三
三等〃　保科　栄
四等〃　鶴巻　正
五等〃　花沢　一郎
敢斗賞　打合　清作
〃　田巻　元治
〃　森田吉之助
〃　森田　堅治
〃　関　清

第五回分館対抗
幻灯コンクール

二月八日、小須戸分館に於て第五回幻灯コンクールを開催四分館出演され慎重に演技された。審査の結果次の通り

第一位　矢代田分館「君死にたもうこと勿れ」
第二位　新保分館「遠雷」
第三位　小須戸分館「羅生門」
第三位　横水分館「土」

クラシックレコードコンサート

期日　三月三日夕七時
会場　公民館二階
演奏レコードはポスターでお知らせ致します。

脳溢血の死亡状況

最近結核の死亡率は新薬の普及と技術の向上とにより年々減り、現在は高血圧を原因とする病気主として脳溢血の死亡状況を年次別に調べてみますと

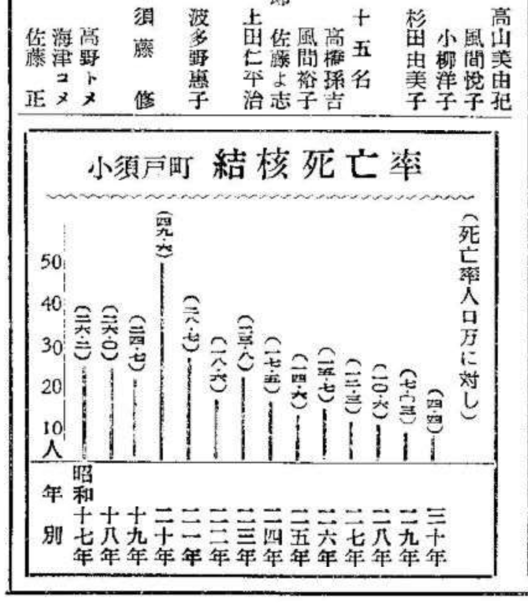
年別	總死亡数	脳溢血死亡数
昭和26年	123	10
27	165	25
28	115	22
29	119	16
30	98	16

なりますが、寒さや疲労が重ると此の時期には発病し易いので注意が肝要です。

出生・死亡
一月一日〜三十一日まで

出生　三十五名
（小須戸）中村重雄
渡辺香苗　板井正行
武藤眞由美　今井洋子
石倉洋子　風間裕子
石川卯乃子　朴　順子
川瀬裕子　笠原俊郎
佐藤　弘　川村美佐惠
関本裕一　早川良一
高山敏明　渡辺仁惠
近藤礼子　丸山孝治
五十嵐　隆
（矢代田）波多野惠子
保科幸子　宮森　晃
高野正幸　中野友子
高橋孝男　木伏厚子
（新　保）須藤　修
須藤　肇　高山美由紀
大貫信弘　風間悦子
（鎌　倉）小柳洋子
（天ヶ沢）杉田由美子
梅津史郎

死　亡　十五名
（小須戸）高橋孫吉
土屋キミ　風間裕子
神林仁三郎　佐藤よ志
関本裕一　上田仁平治
佐藤ミヨ
（矢代田）波多野惠子
古泉ヤス
（新　保）須藤　修
風間　功
（小　向）高野トメ
（天ヶ沢）海津コメ
（鎌　倉）佐藤　正


小須戸町　結核死亡率

昭和30年　小須戸町住民死亡原因

病名	脳溢血	肺炎	大腸カタル	結核	老衰	生活力薄弱	胃癌	気管支炎	腎臓炎	気管支喘息	心筋梗塞	胃潰瘍	心臓喘息	計九八名
数	一六	九	八	五	五	四	四	四	三	三	三	二	二	
病名	縊死	心臓機能不全	心臓麻痺	脳軟化症	慢性胃腸炎	感冒	急性腹膜炎	失血	中風	心臓弁膜	脳栓塞	肝臓癌	乳児脚気	男四一名
数	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
病名	糖尿病	肺水腫	未熟児	早産児	蜘蛛膜出血	麻痺症発作	上顎周癌	心臓衰弱	ショック内出血	肝肥大症	乳癌	衝心脚気	頭蓋骨々打	女五七名
数	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

昭和三十年度年令別における小須戸町住民死亡原因　総死亡数九八名

年令	病名	数	計
一才未満	生活力薄弱	三	一三
	肺炎	二	
	栄養不良	二	
	心臓機能不全	一	
	胃腸カタル	一	
	乳児脚気	一	
	未熟児	一	
	結核性髄膜炎	一	
	早産児	一	
二才〜六才	急性肺炎	二	四
	急性胃腸カタル	一	
	急性腎炎	一	
七才〜十五才	急性肺炎	三	三
十六才〜二五才	急性腹膜炎	一	四
	縊死	一	
	慢性腎炎	一	
	頭蓋骨々打	一	
二六才〜四十才	肺水腫	一	二
	麻痺症発作	一	
四一才〜五十才	脳溢血	二	八
	心臓性喘息	一	
	縊死	一	
	失血	一	
	心臓弁膜	一	
	肺結核	一	
	心臓衰弱	一	
五十一才以上	脳溢血	一四	六四
	老衰	五	
	胃癌	四	
	急性胃腸カタル	四	
	急性肺炎	三	
	心筋栓塞	三	
	肺結核	三	
	胃潰瘍	二	
	気管支喘息	二	
	慢性気管支炎	二	
	脳軟化症	二	
	急性気管支炎	二	
	肝臓癌	一	
	心臓喘息	一	
	慢性胃腸炎	一	
	感冒	一	
	脳栓塞	一	
	中風	一	
	蜘蛛膜下出血	一	
	腎臓炎	一	
	糖尿病	一	
	乳癌	一	
	肝肥大症	一	
	ショック内出血	一	
	喘息	一	
	上顎周癌	一	
	衝心脚気	一	
	胃腸炎	一	
	心臓機能不全	一	
	心臓麻痺	一	